

プランターがうまく仕上がったら、寄せ植えに挑戦してみよう。

寄せ植えを長持ちさせるコツは、太陽が好きな花、嫌いな花、寒さに強い花、弱い花など、同じ条件を好む花でまとめるのがポイントです。寄せ植えを楽しむ目安は2~3カ月とし、咲き方が不揃いになって

きたら、ひと苗ずつ鉢に移して独立させ、あとは一つひとつの花の個性を伸ばしてあげましょう。



ようにするのもポイント。最後に手前から両脇に軽石を敷いて化粧仕上げをします。同じ条件を好むものとして、これからの時期は秋の七草が一番適しています。和の物は趣があり、洋風の家にもとてもよく合います。



応用編・その1 秋の寄せ植え

準備するもの

- 円形プランター
- 軽石



用意した苗

ススキ、コスモス、ジニア、ペロニカ、千日紅、南蛮メデューサ、ミセバヤ、バーベナ

手順

植え方の手順、土入れは、プランターづくりと全く同じです。プランターの時より密集させて花を並べるので、苗と苗の間の土入れを忘れないようにしましょう。

美しく見せるポイントは、後ろに背丈の高いものを置き、手前にいくに従って低くなるように苗を並べていくことです。

また、全体の色合いを考え、見た目にも楽しくなる

応用編・その2 寄せ植え室内用観葉グリーン

準備するもの

- 円形陶器鉢
- 飾り用の石



用意した苗

スアンシリウム、デヘンパキヤ、イボメア バタタストリア、イボメアブラック、オリヅルラン、ヘデラ

手順

応用編・その1と同じ。ここでも苗を並べるのは、後ろに背丈の高いものを置き、手前にいくに従って低くなるように並べます。また、全体がグリーンなのでどこかに色物を配置するのがポイントです。最後は中央に大きめの石を置き、手前から両脇に小石を敷いて化粧仕上げをします。室内用なので、一定の温度を好む植物が向いています。



初心者向け プランターガーデニング

準備するもの

- 長方形プランター
- ネット
- 培養土
- ゴロ土 (赤玉大粒)
- 化成肥料
- 土入れ
- 突き棒
- 日々草

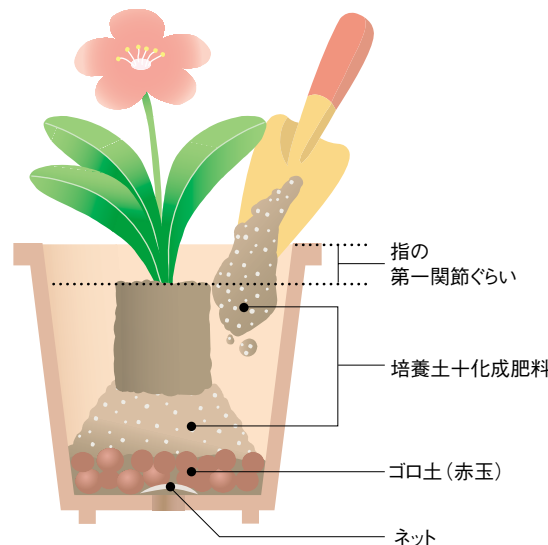


ポイント

- 花の苗は、プランターに移す前に必ず水やりして湿らせておく。
- 仕上げは水やりです。ハス口の取り外せるじょうろを用意します。1回目はハス口を使って、シャワーのように全体に水をかけ花や葉の汚れを落とすようにします。次にハス口を外して、花の根元と土に水やりをします。このときは、水に勢いがあるので、花に掛からないように、また、土があふれ出ないように、ゆっくりしていけないがポイントです。
- 日常の手入れは、咲き終わった花の花がら摘みをする事で、霜が降りる頃まで花を楽しむことができます。

手順

- ①プランターの水ハケ口を覆うようにネットを敷きます。土こぼれと同時になめくじなど虫の侵入を防ぎます。プランターの底全体に敷く必要はありません。
- ②プランター15cmの高さに対し、底から2~3cmほどゴロ土(赤玉)を敷き詰めます。水はけをよくし、根腐れを防ぎます。
- ③新聞紙などを広げ、培養土に化成肥料を混ぜます。
- ④プランターの縁から指の第一関節分くらい下がったところが植える花の地面になるように盛り土をします。
- ⑤盛り土した上に、ポットから出した花を置きます。
- ⑥④⑤を繰り返して、間隔を少し取りぎっちり詰めないように花を一つずつ



並べていきます。⑦土入れを使って花の周りに土を埋めていきます。⑧まんべんなく土が入ったら、突き棒(割り箸など)で花の周りの土を突いて、土の中の空気を抜き、へこんだ部分に土を足します。

入門 ガーデニング

How to Gardening

豊かな心を育む 緑のデザイン



石井一平(かずひら)さん (いしい農園)

道

ばたで見つけた小さな花、垣根越しに見える中庭の花壇、マンションのベランダに置かれたプランターなど、どんな小さな空間でも、緑と接すると、なんともいえず優しい心とやかな気持ちになります。まさに心のオアシスのような存在、それが花の持つ不思議な力なのです。自分の住まいのサイズに合わせて、小さなガーデニングを楽しんでみましょう。庭づくりの経験がなくても、プランターを小さなガーデンに

見立ててデザインすることができ、市川市・国分のいしい農園を訪ね、農園芸家・石井一平さんに、初心者向けプランターガーデニングのコツを教えてくださいました。ガーデニングのポイントには、日当たり・土・肥料・水の4つ。このうち、最低限日当たりと、土さえよければ何とか育つそうです。また、プランターづくりには、日々草、インパチェンス、サルビア、ペコニア、マリーゴールド、アメリカカンパルーなど、長持ちする花が適しています。枯れた花を摘みとってあげれば長い間、楽しめます。プランターガーデニングで失敗しない大事な要素は土。初心者は市販の培養土を使うのが無難な選択です。培養土を求める時のポイントは、決して安い物を購入しないことだそうです。16~18ℓで1000円以上のものが基準を満たしています。



もう一つのポイントは毎日の水やりです。あげ過ぎず、少な過ぎずの見極めが肝心。花にあった水やりは、プロに尋ねるのが一番です。そのためにも、初心者は1プランターに1種類が鉄則です。では、早速プランターづくりに取りかきましょう。